



平成 19 年 7 月 31 日

各 位

会社名 日本特殊陶業株式会社
代表者 取締役社長 加藤 倫 朗
(コード番号 5334 東証・名証第1部)
問合せ先 取締役経理部長 柴 垣 信 二
TEL (052) 872-5918

(訂正)「平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況」の一部訂正について

当社が、平成 19 年 7 月 30 日に公表しました「平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況」の一部訂正がありましたので、以下のとおりお知らせ致します。
なお、訂正箇所は下線太字で表示しております。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

(訂正前)

当第1四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	自動車関連 事業 (百万円)	情報通信・ セラミック 関連事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消 去 又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高及び営業損益						
売 上 高						
(1)外部顧客に対する売上高	50,094	35,049	1,199	86,343	—	86,343
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	22	22	(22)	—
売 上 高 計	50,094	35,049	1,221	86,366	(22)	86,343
営 業 費 用	39,773	31,399	1,206	72,379	(22)	72,356
営 業 利 益	10,321	3,650	15	13,986	—	13,986

(注) 1 「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更 会計処理の変更」に記載のとおり、当第1四半期から有形固定資産の減価償却方法を変更したことにより、自動車関連事業において**21百万円**、情報通信・セラミック関連事業において**25百万円**、その他の事業において0百万円、それぞれ営業費用が減少し、営業利益は同額増加しています。

2 「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更 追加情報」に記載のとおり、当第1四半期からICパッケージ生産設備の耐用年数を短縮したことにより、情報通信・セラミック関連事業において営業費用が**115百万円**増加し、営業利益は同額減少しています。

(訂正後)

当第1四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	自動車関連 事業 (百万円)	情報通信・ セラミック 関連事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消 去 又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高及び営業損益						
売 上 高						
(1)外部顧客に対する売上高	50,094	35,049	1,199	86,343	—	86,343
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	22	22	(22)	—
売 上 高 計	50,094	35,049	1,221	86,366	(22)	86,343
営 業 費 用	39,773	31,399	1,206	72,379	(22)	72,356
営 業 利 益	10,321	3,650	15	13,986	—	13,986

(注) 1 「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更 会計処理の変更」に記載のとおり、当第1四半期から有形固定資産の減価償却方法を変更したことにより、自動車関連事業において**13百万円**、情報通信・セラミック関連事業において**20百万円**、その他の事業において0百万円、それぞれ営業費用が減少し、営業利益は同額増加しています。

2 「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更 追加情報」に記載のとおり、当第1四半期からICパッケージ生産設備の耐用年数を短縮したことにより、情報通信・セラミック関連事業において営業費用が**107百万円**増加し、営業利益は同額減少しています。

【所在地別セグメント情報】

(訂正前)

当第1四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	日 本 (百万円)	北 米 (百万円)	欧 州 (百万円)	そ の 他 の 地 域 (百万円)	計 (百万円)	消 去 又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	32,630	27,661	16,789	9,262	86,343	—	86,343
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	42,645	231	234	280	43,391	(43,391)	—
売 上 高 計	75,276	27,892	17,023	9,542	129,735	(43,391)	86,343
営 業 費 用	64,422	27,235	15,929	8,221	115,808	(43,451)	72,356
営 業 利 益	10,854	656	1,094	1,321	13,926	60	13,986

- (注) 1 「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更 会計処理の変更」に記載のとおり、当第1四半期から有形固定資産の減価償却方法の変更したことにより、日本地域において営業費用が**115百万円**減少し、営業利益は同額増加しています。
- 2 「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更 追加情報」に記載のとおり、当第1四半期からICパッケージ生産設備の耐用年数を短縮したことにより、日本地域において営業費用が**115百万円**増加し、営業利益は同額減少しています。

(訂正後)

当第1四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	日 本 (百万円)	北 米 (百万円)	欧 州 (百万円)	そ の 他 の 地 域 (百万円)	計 (百万円)	消 去 又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	32,630	27,661	16,789	9,262	86,343	—	86,343
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	42,645	231	234	280	43,391	(43,391)	—
売 上 高 計	75,276	27,892	17,023	9,542	129,735	(43,391)	86,343
営 業 費 用	64,422	27,235	15,929	8,221	115,808	(43,451)	72,356
営 業 利 益	10,854	656	1,094	1,321	13,926	60	13,986

- (注) 1 「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更 会計処理の変更」に記載のとおり、当第1四半期から有形固定資産の減価償却方法の変更したことにより、日本地域において営業費用が**34百万円**減少し、営業利益は同額増加しています。
- 2 「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更 追加情報」に記載のとおり、当第1四半期からICパッケージ生産設備の耐用年数を短縮したことにより、日本地域において営業費用が**107百万円**増加し、営業利益は同額減少しています。

以上